

(様式第9)

獨医大病庶庶発第38号
平成19年10月12日

厚生労働大臣 殿

学校法人 獨協学園
理事長 寺野

獨協医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規程に基づき、平成18年度の業務に関して報告いたします。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	86人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体型的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従事者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	551人	4.8人	555.8人	看護業務補助者	71人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	23人	0.4人	23.4人	理学療法士	8人	臨 床	臨床検査技師 75人
薬 剤 師	54人		54.0人	作業療法士	4人	検 査	衛生検査技師 0人
保 健 師	0人		0.0人	視能訓練士	4人		その他 9人
助 産 師	14人		14.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	2人
看 護 師	804人	30.1人	834.1人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	9人	5.9人	14.9人	栄 養 士	6人	その他の技術員	11人
歯 科 衛 生 士	4人		4.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	214人
管 理 栄 養 士	15人		15.0人	診療放射線技師	60人	そ の 他 の 職 員	69人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により、常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	1,018.3人	19.0人	1,037.3人
1日当たり平均外来患者数	2,217.2人	93.4人	2,310.6人
1日当たり平均調剤数	4,047.2剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時間現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を、記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を、記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供実績

1. 高度先進医療の承認の有無及び取扱患者数

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・人工活約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	
・経皮的レーザー椎間板切除術 (内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子物産P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	6人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	17人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	103人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	17人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	1人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	
・乳房漏存療法における鏡視下腑窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	38人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	5人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	

・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊柱骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・特発性男性不妊症・性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・胎児尿路-羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input type="radio"/> 無	
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB) 治療	有・ <input type="radio"/> 無	2人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・抗がん剤感受性試験 (CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	2人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	
・HLA抗原不一致ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・頸椎椎間板ヘルニアに対するYag-Laserによる経皮的椎間板減圧術 (CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・末梢血管細胞 (CD34陽性細胞に限る。) による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	9人
・副甲状腺内活性化型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	
・自己腫瘍 (組織) を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・自己腫瘍 (組織) 及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	

高度先進医療の種類 (歯科)	承認	取扱患者数
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	7人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	

・顎間接症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	
・X線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	
・顎間接鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	
・顎間接脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	
・耳鼻咽喉領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	

先進医療の種類	承認	取扱患者数
高周波切除術を用いた子宮腺筋症核手術	有・ <input type="radio"/> 無	
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術 (PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	
凍結保存同種組織を用いた外科療法	有・ <input type="radio"/> 無	
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	16人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	7人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	
歯周組織再生誘導	有・ <input type="radio"/> 無	
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	17人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	
抹消肝細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	
超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	550人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	
X線CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、別項「その他の高度医療」に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

その他の高度医療

医療技術名	埋込型除細動器移植術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
自動的に致死性心室性頻拍を感知し高頻度刺激やショックパルスを発生し除細動を行う装置を体内に埋め込むもの。			
医療技術名	血管内超音波検査	取扱患者数	98人
当該医療技術の概要			
冠動脈の動脈硬化（石灰化、アテローム硬化、血栓の有無）などについて詳細な評価を行う。			
医療技術名	経皮的冠動脈血栓吸引術	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要			
冠動脈内の血栓に対して吸引カテーテル（レスキュー、スロンバスター、パークサージ）にて血栓を吸引除去するもの。			
医療技術名	血漿交換療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
劇症肝炎やギラン・バレー症候群における障害因子を除去するために体外循環を行い血漿を濾過置換する。			
医療技術名	免疫吸着療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
膠原病において自己免疫性の障害因子を除去するために体外循環によるカラム吸着療法を行う。			
医療技術名	腹水濃縮灌流療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
著明な腹水が認められる肝硬変などの症例において、血行動態が安定した状態で腹水を除去するために、採取した腹水をダイアライザーで濾過濃縮し静脈に還流する。			
医療技術名	経皮的心肺補助法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
経皮的に挿入したカテーテルを用いて遠心ポンプと膜型人工肺を用いた閉鎖的回路の人工心肺装置にて心肺循環補助を行うもの。			
医療技術名	脳電図トポグラフィー	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
20channel脳電図LORETA解析による前頭葉機能障害の判定、治療			
医療技術名	修正型電気痙攣療法	取扱患者数	450人
当該医療技術の概要			
難治性うつ病や治療抵抗性の統合失調症に対して筋弛緩剤により痙攣を抑制した状態でサイマトロンを用い、頭部にパルス波を通電し、治療をおこなう。年間の施行件数は述べ450件程度である。			

医療技術名	自家遊離複合組織移植術	取扱患者数	35人
<p>外傷や手術などで欠損した組織を再建する手術のうち、他部位の組織を血管付きで採取し顕微鏡を用い血管を縫いつけた上で移植する手術。</p>			
医療技術名	顔面神経麻痺形成手術	取扱患者数	39人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>顔面神経麻痺のある方に顔面の筋肉を腿や他の筋肉で吊り上げたり、左右のバランスを整えたり、神経の移植などして機能を回復させる手術。</p>			

(注) 当該医療機関において高度な治療と判断するものが他にあれば、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの一年間の実績を記入すること

2. 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診断

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	163人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	0人
・多発性硬化症	94人	・ウェゲナー肉芽腫症	3人
・重症筋無力症	166人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	0人
・全身性エリテマトーデス	996人	・多系統萎縮症	3人
・スモン	5人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0人
・再生不良性貧血	110人	・脳疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	323人	・広範脊柱管狭窄症	18人
・筋萎縮性側索硬化症	43人	・原発性胆汁性肝硬変	176人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	1人	・重症急性膵炎	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	239人	・特発性大腿骨頭壊死症	1人
・結節性動脈周囲炎	23人	・混合性結合組織病	76人
・潰瘍性大腸炎	370人	・原発性免疫不全症候群	9人
・大動脈炎症候群	23人	・特発性間質性肺炎	42人
・ピュルガー病	7人	・網膜色素変性症	72人
・天疱瘡	109人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	101人	・原発性肺高血圧症	60人
・クローン病	102人	・神経繊維腫症	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	32人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	0人	・特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	0人
・アミロイドーシス	21人	・ライムゾーム病（ファブリー[Fabry]病）含む	0人
・後縦靭帯骨化症	137人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

3. 病理・臨床検査部門

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に 1 回程度 (年間 12 回 開催)
剖 検 の 状 況	剖検症例数 75例 剖検率 12.7%

※受託解剖は、解剖率から除く。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
「AED使用を必須とした心肺蘇生法」の地域住民への普及による心臓性心停止例の救命	菊地 研	内科学(心血管・肺)	300,000	補委	文部科学省
急性心不全とその関連疾患に対するより効果的かつ効率的な治療等の確立に関する研究	菊地 研	内科学(心血管・肺)	500,000	補委	厚生労働省
トレフォイル・ペプチドによる消化管疾患の予防・治療に関する基礎的検討	平石 秀幸	内科学(消化器)	1,700,000	補委	日本学術振興会
胃潰瘍診療ガイドラインの適用と評価に関する研究	平石 秀幸	内科学(消化器)	600,000	補委	厚生労働省
国内外における医療事故・医事紛争処理に関する法的研究	寺野 彰	内科学(消化器)	主任研究者一括計上	補委	厚生労働省
転写因子による造血制御機構と白血病発症機構の解析	三谷 絹子	内科学(血液)	4,100,000	補委	日本学術振興会
転座型白血病の分子機構と分子標的療法	三谷 絹子	内科学(血液)	9,300,000	補委	文部科学省
発生工学的手法を用いた白血病関連転写因子の機能解析	三谷 絹子	内科学(血液)	1,000,000	補委	日本学術振興会
AML I/Evi-1の発生工学的機能解析	三谷 絹子	内科学(血液)	1,600,000	補委	厚生労働省
骨髄異形成症候群に対する画期的治療法に関する研究	三谷 絹子	内科学(血液)	24,000,000	補委	厚生労働省

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高密度CGHアレイを用いた新規白血病、リンパ腫治療薬の標的分子の探索	三谷 絹子	内科学(血液)	1,000,000	補委	厚生労働省
発生工学的手法を用いた転写因子Runx1の造血幹細胞発生における機能の解析	牧 和宏	内科学(血液)	1,100,000	補委	文部科学省
白血病関連転写因子TELのES細胞を用いた機能解析と新規結合蛋白の同定	江口真理子	内科学(血液)	1,500,000	補委	日本学術振興会
Runx1の標的遺伝子の網羅的スクリーニングおよび発生工学的機能解析	山形 哲也	内科学(血液)	1,500,000	補委	日本学術振興会
アドレノメデュリンの臨床応用を目指した研究-ゲノム・プロテオーム解析を含めて-	錦見 俊雄	内科学(循環器)	2,200,000	補委	日本学術振興会
ゲノム・プロテオームネットワーク解析に基づく循環器疾患の診断・治療法開発の基盤研究	錦見 俊雄	内科学(循環器)	1,900,000	補委	厚生労働省
基底核が早期情報処理障害にもたらす影響の病態解明	平田 幸一	内科学(神経)	900,000	補委	日本学術振興会
片頭痛に対する画期的治療法の開発に関する研究	平田 幸一	内科学(神経)	主任研究者一括計上	補委	厚生労働省
ギラン・バレー症候群由来のモノクローナル抗ガングリオシド抗体の作成と遺伝子解析	小鷹 昌明	内科学(神経)	6,300,000	補委	文部科学省
Fisher症候群モデル動物の樹立	船越 慶	内科学(神経)	1,500,000	補委	文部科学省

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
抗ガングリオシド抗体産生機構の解明	結城 伸泰	内科学（神経）	9,700,000	補委	日本学術振興会
1次感覚ニューロンにおけるb系列ガングリオシドの機能的役割	結城 伸泰	内科学（神経）	2,600,000	補委	文部科学省
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	結城 伸泰	内科学（神経）	550,000	補委	厚生労働省
糖鎖の関連するニューロパチーの分子病態の解析	結城 伸泰	内科学（神経）	6,500,000	補委	厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	結城 伸泰	内科学（神経）	900,000	補委	厚生労働省
特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究	結城 伸泰	内科学（神経）	2,400,000	補委	厚生労働省
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携ガイドライン作成に関する研究	宮本 雅之	内科学（神経）	600,000	補委	厚生労働省
各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的検討（若手医師・協力者活用に要する研究）	服部 良之	内科学（内分泌代謝）	4,140,000	補委	厚生労働省
各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的検討	服部 良之	内科学（内分泌代謝）	200,000	補委	厚生労働省
PPAR作動薬の遺伝子標的の選択性に関する研究	門傳 剛	内科学（内分泌代謝）	3,000,000	補委	文部科学省

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
SLE精神症状発症における抗モノアミン受容体・トランスポーター自己抗体の役割	前澤 玲華	内科学（呼吸器・アレルギー）	1,200,000	（補委） 日本学術振興会
上気道及び下気道アレルギーの臓器過敏性における臓器特異的免疫基盤の解明と早期診断法の開発	福田 健	内科学（呼吸器・アレルギー）	1,900,000	（補委） 厚生労働省
アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する研究	福田 健	内科学（呼吸器・アレルギー）	5,000,000	（補委） 厚生労働省
マウス喘息モデルを用いたCCケモカイン、TARC及びMDCのT細胞に対する分化増殖制御機構の解明	平田 博国	内科学（呼吸器・アレルギー）	1,500,000	（補委） 文部科学省
うつ病に対するオーダーメイド的薬物治療開発のためのゲノム薬理学的研究	室井 秀太	精神神経医学	1,100,000	（補委） 文部科学省
ゲノム薬理学的手法によるパニック障害治療における最適なパロキセチン血中濃度の探索	佐伯 吉規	精神神経医学	1,100,000	（補委） 文部科学省
パニック障害に対するオーダーメイド薬物治療計画立案のためのゲノム薬理学的研究	下田 和孝	精神神経医学	1,200,000	（補委） 日本学術振興会
鉄イオン調節を用いた肝細胞癌に対する免疫療法に関する基礎的研究	窪田 敬一	第二外科学	1,200,000	（補委） 日本学術振興会
代謝研究のためのヒト肝細胞バリデーション	窪田 敬一	第二外科学	800,000	（補委） 厚生労働省
線維性皮膚疾患におけるI型コラーゲン遺伝子転写調節機構の解析	旗持 淳	皮膚科学	900,000	（補委） 日本学術振興会